

仕入れ情報

価格

役物は除き10
000円~20000円
/㎡前後。
(扱ひ量によっ
ても異なる)

サイズ

厚さ12mm~25mm
縦65mm~88mm
横202mm~230mm

流通

各メーカーより工務店への直接販売する方式がほとんど。インターネットの販売サイトで、小口販売を行っているメーカーもある。また、メーカによりタイル卸問屋で扱っているケースもある。

発注ロット

パレット単位の販売(約1365枚入り)だけでなく、小口梱包(4~20枚入り)も行っているメーカーもある。

備考

ベース材については、ガルバリウム鋼板製のレール下地を使っているメーカーが多いが、400mm×1200mmのパネル化商品は、下地材とレンガが一体化している。



▲耐久性も高く、メンテナンスも必要ない

また、優れた耐久・耐火性もある。レンガは、

補修や塗装も必要ない。つまり、メンテナンスフリーの外装材だ。

施工も容易な乾式工法開発

レンガの魅力は、焼物が本来持つ暖かさと独特の風合いが生み出すデザイン性だ。年月が過ぎてついた汚れも「年季の入った表情」「味わい」として見られることから、

意匠性と耐久性を併せ持つ

昔から製鉄所や焼物の釜などに使用され、耐火性については周知の通り

レンガの乾式工法は、オーストラリアで生まれ、日本では、十数年前に販売が本格的にスタートした。リフォームでの導入はまだまだ少ないものの、本物志向の需要が高まってきたこともあり、差別化商材として注目したい。

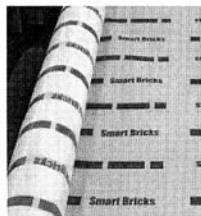
意外に知られていない
この商品の魅力

レンガ編

乾式工法の登場で剥離・落下の心配なくなる

風合いを楽しむデザイン性が本物趣向のユーザーから支持

施工手順~乾式工法~



防水シート張り
防水シートをしたから順番に隙間なく張り、ステープルで胴縁に留める。



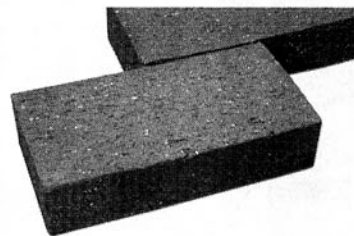
留付レール(金具)の取付
レールをメッキスクリュー釘またはビスで胴縁に留め付ける。



スライスレンガの取付
割付を考慮してタ縦目地を調整し、レールに打ち、レンガをレールにはめ込む。



目地モルタルの施工
気温・天候により水の量を調整し、攪拌したモルタルをつまみ、目地をバックにつまみ出ししながら乾燥を充填する。乾燥を見ながら、押さえ・ブラシをかける。



▲レンガもスライスすることで軽量化

既築の壁への負担と地震などによる落下だ。しかし、ガルバリウム製のレール下地に薄切りにスライスしたレンガを取り付ける乾式工法が登場したことで、一気に問題が解決された。剥離し

る。施工が容易で工期の短縮も図れる商材だ。しかし、乾式工法の場合、熟練技術も必要なくサイディングの施工業者でも行える。湿式工法に比べると、

低コスト・短工期の乾式レンガ工法
一般的なレンガの乾式工法は、壁面に下地を作り、レンガをモルタルで貼り付けていたため、高い技術力も必要だった。また、地震や経年によるレンガの落下など、短工期化が図れ、結果的にコストも削減できる。

リフォーム向けには、簡易施工を実現するため、極力使用材料をシンプルにし、切断や取付などの現場作業を簡単にした施工システムも開発されている。このため、作業効率が高く、施工者の競争力も出てくる。また、薄型のレンガをパネル化した商品もある。厚さ13mmのレンガと合板下地材との間に断熱材を入れて一体型にしたレンガパネルで、サイディングと同じようにビス止めで固定するだけなので、施工も簡単だ。また、断熱材が一体化していることで外断熱と同様の効果がある。

ないで、耐震性・安全性も高い。湿気工法に比べ、施工も簡易

従来のレンガの湿式工法は、壁面に下地を作り、レンガをモルタルで貼り付けていたため、高い技術力も必要だった。また、地震や経年によるレンガの落下など、短工期化が図れ、結果的にコストも削減できる。

リフォーム向けには、簡易施工を実現するため、極力使用材料をシンプルにし、切断や取付などの現場作業を簡単にした施工システムも開発されている。このため、作業効率が高く、施工者の競争力も出てくる。また、薄型のレンガをパネル化した商品もある。厚さ13mmのレンガと合板下地材との間に断熱材を入れて一体型にしたレンガパネルで、サイディングと同じようにビス止めで固定するだけなので、施工も簡単だ。また、断熱材が一体化していることで外断熱と同様の効果がある。